

脚立・立馬・作業台



「安全第一」

「自分の身は自分で守るう…安全職場」

脚立・立馬・作業台を使用中の事故は重大な災害になる可能性が高いです。

1メートル未満の高さであっても転落事故をおこしてしまうと死亡事故や半身不随など取り返しの付かないことになることがあります。

脚立・立馬を使用するときは仕様書を確認し作業環境に合ったものを選びましょう。また現場によって使用できない物もあります。

作業に入る前に確認しておきましょう。

脚立使用例



開き止めが外れていないか脚立がしっかり開いているか確認しよう。損傷している部分がないかも点検しよう。



脚立にまたがった作業は禁止です。この状態では前面に力が入ると後ろ向きに倒れやすいからです。



脚立から身をのり出すのは大変危険です。脚立の位置をずらして正面で作業できるように心がけましょう。

脚立は天板での作業は禁止されています。作業に応じてとどかない場合はサイズの合ったものを使用して下さい。



立馬・作業台種類 注意事項



高さ90cm～120cm程度の立馬。
軽く狭い場所でも使える

*** 立馬・作業台は二人以上
乗っての作業は禁止です。**

この種類の作業台が一番高い
物で200cm近い物もあります。
感知バーが付いています。

*** 作業台に背を向けて昇降しな
いで下さい。**

この種類の作業台も高い物で
200cm近い物があり形状は脚
立のようですが天板が作業床に
なっています。

*** 幅は狭いので身を乗り出して
作業しないで下さい。**

作業前には必ず作業場所に合った作業台を選んで点検を行い
設置後、作業台のぐらつきがないか等、確認して安全に作業に
取り掛かってください。

